



1001号

2025年3月17日  
郵政産業労働者ユニオン  
呉支部発行

←中国地本HPへ  
PC・スマホ等から  
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

最低賃金の時給要求

全国どこでも  
1,500円以上

**大幅賃上げの実現を**  
郵政ユニオンは社員の味方として、最低賃金時給全国どこでも1,500円以上を求めてきた。しかし、会社側は最低賃金の引き上げや郵政Gの賃金体制、スキル評価などを理由に現状維持を貫いている。

# スト突入秒読みか？

近年は物価が急激に上昇している事から、特に非正規社員の生活は厳しさを増している。

一方で郵政Gは、郵便事業の赤字という問題は抱えても、莫大な利益を積み重ねている。

そして先行き不安を理由に社員に十分な還元を行っていない。

過去には、経営者の見通しがお花畑の結果、巨額損失を出しても、社員の労働待遇低下という手法で損失の穴埋めをしてきた。

業績が改善しても、先行きの不透明を理由に社員には還元を渋り、株主と経営陣には、多額の報酬を支払っている。

そうして貯めた内部留保、つまり利益剰余金は郵政Gで6兆円を超えており、還元できるだけの体力は充分ある。

その利益は社員が生み出したもので、たたかってでも交渉する必要がある。

## 春闘についての考察

物価高や人員不足で、賃上げ要求は高まった。昨年は5%超の賃上げ

が平均となったが、郵政Gは定期昇給や特別一時金を含めて4%の賃金改善に留まった。

今春闘は、社内全体で見れば、定期昇給とベースアップを含めて5%である。

特に、新卒者やシニアスタッフの給与改善幅は大きかった。

これは、他社が新卒等の雇用条件を改善しており、人材不足対策を行う必要に迫られている事の現れである。

しかし、既に雇用されている社員は大幅改善に喜ぶ意見もある一方、これまでもが不当に低すぎたと指摘する意見が多い。

## その通りだ。

会社は安い給料で労働力を確保する為、新一般職を創設し、近年は新一般職から地域基幹職にコース転換する人数を増やして改善をアピールしている

が、将来的に統合するならば、振り出しに戻る可能性すらある。

コース転換合格者数が急増する背景が統合にあるのなら、春闘回答で改善や上積みという表現は使うべきではない。

また、会社別で見ると、ゆうちょ銀行が前年に続き、一時金の割合を高く支給する方針であり、郵政G内で格差が生じている。

## 労災多発の呉郵便局

呉郵便局では労働災害が連続し、2度目の特別非常事態宣言を出している。

2度目の発令となった10月は、僅か10日で4件も労働災害が続いた。

そして、労働基準監督署から重点事業所の指定をされた。

要員不足によって社員が仕事に迫られる過剰負担が労働災害の原因だと推察する人も多い中、会社が示す業務対策は減区という負担増である。

交通事故もそうだが、事故を起こした社員が悪いと社員に全責任を押し付けている。これまでの方針が続いている。

会社側は、業務量と事故は関係ないと主張するだろうが、事故が増えている事が何よりの証拠で問題である。

## 子育て支援の法拡充

2025年4月から、「出生後休業支援給付金」が創設され、育児休業に関する拡充が行われます。

収入が減る事で、取得が敬遠されがちな育児休暇を取得しやすくする為、最大で28日間は、手取りで10割

(育児休業給付金込み)相当の給付金を受給できる様になります。

また、育児・介護休業法の改正により、子供の看護休暇に取得条件が小学校就学前から小学3年生修了までに延期され、取得事由に感染症による学級閉鎖等や入学式・卒業式も追加されています。

各種法令改正は、細かく条件がある為、制度を利用する前にしっかりと内容確認をする必要があります。

労働者が働き易い職場環境に法律等からも支援がある事は望ましいです。

## 今後の予定

- 4月 8日(火) 17:00~  
第8回呉支部執行委員会  
支部事務所
- 3月28日(金) 18:30~  
退職者慰労会  
場所 炭焼 鳥長  
呉市中通2-3-5  
参加費 一人2千円  
参加希望の方は、早めに  
役員までお願いします

次号は 4月 1日 予定